

～災害対応力を備えたまちの次世代型拠点形成～ 地域活性化×防災×エネルギー

将来の無理のない持続可能な地域社会に進化するために、まちの活性化、若い世代の居住、健康（ウェルネス）、災害時のエネルギーや生活環境維持、公共施設再配置など、次世代のニーズ・多様な課題への対応を念頭に、拠点整備のコンセプトメイキング（構想）から、事業スキーム構築、PPPアドバイザー、完成後の施設運営まで、トータルで最適なプロセスのコンサルティングサービスを提供します。

スマート & ウェルネス

パシフィックコンサルタンツの“イチ推し”実績

多次元＋官民連携で、次世代の地域づくりを牽引する拠点を形成

ウェルネス × 定住 × 観光・交流 × 防災 × エネルギー

●むつざわスマートウェルネスタウン拠点形成事業 (千葉県睦沢町)

PFI手法を用いて既存の道の駅の建て替えと町営住宅の整備を実施。「健康支援型道の駅」をテーマに、農産物直売所やレストラン、温浴施設や防災広場、ドッグラン等の施設が整備され、多くのひと、多様な世代が集い、交わり、新しい活力を生みだす、地域の新しい拠点形成を目指しています。

地元産の天然ガスによるガスエンジン発電機（ガスコジェネ）や、屋根に設置した太陽光・太陽熱発電などの分散型電源を導入しているほか、エリア内は無電柱化や自営線によるマイクログリッドが構築されており、災害時にも自立性を保てる防災の拠点として機能するよう計画されています。



2019年9月の台風15号による千葉県広域で発生した大規模停電の中、独立したエネルギー供給システムにより電力を確保。周辺住民に温水シャワー・充電サービスを無料提供し、防災拠点として活躍しました！



周辺が停電する中、煌々と光る道の駅

温水シャワーに並ぶ地域住民の列

具体化につながりやすいきっかけ

公共施設の再編に向けた複合化の検討や、まちの活性化のための拠点形成等を検討していませんか。まちにとって、より付加価値の高い拠点形成をご支援します。



- 公共施設の機能再編
- まちの活性化拠点整備（観光・交流拠点等）
- マイクログリッド・無電柱化
- SDGs、地域循環共生圏
- 健康支援
- PPP（官民連携）等
- 防災拠点整備

施設内容	<p>道の駅むつざわ つどいの郷 情報発信施設、休憩施設、農産物等直売所、花卉直売所、レストラン、温浴施設、防災広場・倉庫、駐車場、加工施設、サイクルステーション、ドッグラン 等</p> <p>地域優良賃貸住宅 交流施設（集会所）、児童遊園、2階建戸建住宅、平屋建戸建住宅、2階建テラスハウス 等</p>
事業方式	<p>民間提案型 PFI事業（BTO方式、一部BOO方式） 【SPC名称】むつざわスマートウェルネスタウン（株） 代表企業：パシフィックコンサルタンツ（株）</p>
関連事業	<p>自治体PPS「株式会社CHIBAむつざわエナジー」による、ガスコジェネレーション、太陽光発電装置の整備、自営線によるマイクログリッドの構築(独自の電線網の敷設)</p>

図・写真提供：むつざわスマートウェルネスタウン(株)、株式会社CHIBAむつざわエナジー